

# コロナ禍で始めたこととは？

今号では、コロナ禍で新たなことにチャレンジしている獨大生を取材！  
新しい生活様式が定着しつつある今日この頃、  
コロナ禍じゃなければ出会えなかったかもしれない趣味をご紹介します。  
何気なく始めたことが、一生を変えることも？

取材担当：外国語学部交流文化学科 2年 柿沼侖、外国語学部英語学科 3年 張政、外国語学部英語学科 3年 藤岡希（学生記者）

## challenger 02

名前 神田優那（かんだゆうな）

所属 外国語学部交流文化学科 2年

はじめたこと ホームシアター

コロナ禍でうち時間を充実させてくれたのがプロジェクターと巨大なスクリーン。最大の魅力は「大画面で迫力があり、必要な時に取り出せるので場所を取らない」こと。また、気分に応じてスクリーンを映す場所を変えられる利便性も。元々映画鑑賞が趣味だったが、たくさんの作品を大画面で見たいと思い、購入を決めた。外出を控えたいこの時期にレンタルDVDが自宅に届けられるサービスを使い、ミュージックビデオからホラーや恋愛、アクションといった様々なジャンルの映像作品を、自分専用のホームシアターで楽しんでいる。



## challenger 01

名前 尾木草輔（おぎそうすけ）

所属 法学部法律学科 2年

はじめたこと ドライブ

コロナ禍で運転免許を取得してから、ドライブが趣味になった。行くところは様々で、車に乗ってから行き先を考えることもある。これもまたコロナ禍でハマって繰り返し観ている好きなドラマの聖地巡礼にふらっと行ってみることもあれば、深夜の誰もいない鎌倉に友人と行ってみたり、房総半島南部の綺麗な景色を見に行ったりもした。自分のペースで目的地に行けるので、気ままに寄り道することもできるし、密になることも回避できる。フロントガラスから見える景色は、普段見ている景色とは異なることもあるので、ぜひ皆さんも気分転換にハンドルを握ってみては？



浜金谷(千葉県富津市)のイタリアン

## challenger 03

名前 張政（ちようせい）

所属 外国語学部英語学科 3年

はじめたこと デジタルイラスト



「Procreate」というデジタルイラストアプリで、独自の世界観を描写する。落ち込むときやイライラするときに、絵を描き始めると「嫌」な時間が止まり、「自分だけ」の空間ができる。

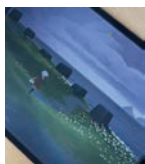


コロナの影響でオンライン授業に変わったため、学習用のiPadを購入した。子供の頃から絵を描くことに興味があったが、この機会にデジタルイラストを始めた。今まで慣れてきた紙と鉛筆の感触が、スクリーンとタッチペンに変わった。最初はなかなか使いこなせなかったが、練習を重ね、SNSでイラストレーターとして活躍できるまでに成長。アイコンの依頼からロゴのデザインまで、ソーシャルメディアを通して、各国の絵仲間と繋がり、イラストの世界に進出しつつある。今ではアプリで自分のオンラインショップを開き、オリジナルのデザイン柄でTシャツやマグカップなどのグッズを販売している。

## challenger 07

はじめたこと  
ゲーム

名前 登山裕佳子 (とやまゆかこ)  
所属 外国語学部英語学科 3年



コロナ禍でも人数を問わず楽しめるのがゲームの魅力。

コロナ禍でNintendo Switchを購入し、ゲームを始めた。攻略情報を集めつつレベルアップを目標に毎日地道に作業を進める。今ではiPadを使用したロールプレイのアクションゲームや冒険ゲームなど様々なジャンルのゲームを楽しんでいる。今まであまり話したことがなかった友人とも、ゲームの話題を通じて盛り上がる事ができた。また、人見知りの性格でも、ゲームを介してコミュニケーションを楽しむことができるのがゲームの楽しみのうちの1つ。



## challenger 04

はじめたこと  
画像編集

名前 吉見麻菜 (よしみまな)  
所属 経済学部経済学科 2年



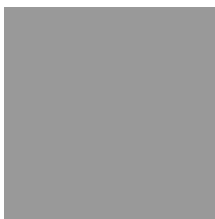
1年の春、コロナ禍で全ての授業がオンライン形式となり、何か新しいことを始めてみたいという気持ちから画像編集を始めた。最初は操作に慣れず、とにかく触って使い方を覚えていった。少し慣れた頃にインターネット上で商品を販売している知り合いから声がかかり、商品ページやお客様へのメッセージカードのデザインを担当。どのようなレイアウトにすると売れ行きが良くなるかなどを考えることがとても楽しかった。現在は動画編集も学び、所属しているサークルの企画で動画制作もを行っている。操作を重ねてより良い画像や動画を制作できるようになりたい。



## challenger 08

はじめたこと  
バイクライフ

名前 石川達也 (いしかわたつや)  
所属 外国語学部交流文化学科 3年



バイクはHondaのCB250R。よく週末にツーリングをしている。最近、バイク好き・F1好きが集まるサークルを発足したので、仲間を募集集中。

もともと、ロサンゼルス(海外旅行)に行くためにアルバイトをしてお金を貯めていた。しかしコロナ禍で海外へ行けなくなってしまい、なんのためにお金を稼ぐのか自分自身の目的・指針を持ちたいと思い、幼い頃から好きだったバイクの免許取得とバイク購入を決意。大学2年の夏に自動車教習所に通いながら、費用を貯めた。

風を切る感覚や自然の匂い、バイクを自分で操作することの楽しさがお気に入り。また、二輪と四輪が混走する公道がいかに危険か身をもって知ることができた。将来は安心して安全なモビリティ社会を作りたいと思うようになった。

## challenger 05

はじめたこと  
宅トレ

名前 原友里恵 (はらゆりえ)  
所属 外国語学部英語学科 1年



元々、運動するのが大好きなので、コロナ禍で新しく「宅トレ」を始めた。宅トレとは家の中で出来るトレーニングのこと。おうち時間が増え、運動不足になりがちだったが、これを始めてから気分転換や、ダイエットにもなるので、自然と気持ちがポジティブになった。

宅トレの参考に、人気YouTuberの動画を見ている。運動だけでなく、体に気を使った料理も教えてくれ、誰でも簡単に始められるのでぜひ試してみたい。コロナで制限されていることはたくさんあるが、自分次第でできることは広がる。私は、自分の興味あることに挑戦してみる時間が増え、工夫することの大切さを学んだ。

## challenger 09

はじめたこと  
投資

名前 堀口太陽 (ほりぐちたいよう)  
所属 外国語学部英語学科 3年



教えてくれた従兄弟と。携帯、パソコンから自身の投資状況がプラスなのかマイナスなのか一目で分かる。積立金額が毎月自動で支払われるので難しく考える事なくただチェックするだけでいい。

投資を始めたのは大学2年生の5月頃。従兄弟が既に始めていたこと、映画で観た「セカンドライフ」に興味を持ち、投資を始めた。私が始めたのは「つみたてNISA」。これは自身で株価や情勢を見極めて投資をするというものではなく、投資信託制度を活用して、投資家たちから集めた資金をもとに、ファンドマネージャーに銘柄を選んでもらう。

投資初心者でも、20年間運用益と分配金が非課税なので低コストかつ長期的運用可能なのが特徴的である。将来は海外の自然に囲まれた場所で暮らすことを目指している。

## challenger 06

はじめたこと  
note

名前 村井ひかり (むらいひかり)  
所属 外国語学部ドイツ語学科 2年



投稿にはいつも自分のパソコンかスマートフォンを使う。



あまり外では投稿せず、自宅でやるのがほとんど。

コロナ禍ではじめたのが「note」への投稿。noteとは、クリエイターが文章や漫画、写真、音声などを投稿できるインターネット上のプラットフォームの一つ。コロナによって家族以外の他人と接する機会が激減し、一人で考え事をする時間が増えた。以前は友人と直接話していたことも、オンラインでのやり取りではうまくいかなかった。そこではじめたのが「note」である。これまでいくつかの投稿をしたが書くたびに歯がゆい思いをしている。自分が思っていることをうまく文字で表現できたことが一度もないからだ。それでも「自分の感じていることを形にしたい」という気持ちがあるから続けている。